

「あなたの会費が国大化学会を支えています。」 会費納入の現状と今後の会費納入促進対策について（お願い）

会費納入促進 G 熊代 幸伸（昭和 39 年電化卒）
坂本 泰一（平成 2 年物工卒）
本間 昭弘（昭和 44 年 2 部応化卒）

はじめに

昨今、同窓会の役割が、従来の卒業生の懇親会的位置づけから、大きく変化しています。すなわち、法人としての大学への参加協力、学生への具体的支援の比重が大きくなってきています。

私たち卒業生は、これらの変化を敏感に受け止めての活動が必要です。そのために、会費納入状況は十分ではありません。皆様に、その実情を知っていただくとともに、今後の同窓会をより強固にしていこうではありませんか。対策への御協力をお願いいたします。

（現状）

①連絡先不明者（会誌を送付した時、住所不明で戻る）の多さ

平成 21 年 7 月の調査で、約 2,370 人の会員が連絡先不明であることに変わりません。特に平成卒業の会員については、半数近くの方の連絡先が不明状態です。

①会費納入の低さ

平成 20 年度の会費納入金額は、3,906,000 円で、会員数として、1,953 人です。平成 20 年度の皆様のご協力による改善取組で、平成 19 年度の 1,895 人と比較して、58 名の増加が見られ、約 2%の改善がありました。これは連絡のとれている会員（会誌送付が可能な会員 4,340 人）の約 47%です。

②同窓会の変化への理解不足

「はじめに」で述べましたように、国大化学会の役割が大きく変化してきていることの認識不足があります。



（対策）

①連絡先不明者の多さ

連絡先の調査のために新設される同窓委員の皆様をお願いして、クラスまたは研究室の不明者の住所を調べていただくことを再計画します（すでに、平成 20 年度に 1 回実施済み）。抜本的には、卒業時に連絡先（親元を含む）を登録していただき、国大化学会事務局で保存する。

②会費納入の低さ

会費の振込みは、郵貯銀行が中心になっていますが、銀行（横浜）振込み口座の方法も紹介しています。銀行振り込み用紙の同封が必要かどうか、検討していきます。

③同窓会の役割変化への理解不足

国大化学会機関紙や E メール（ホームページ、メルマガ）を通して、大学諸活動と国大化学会の協力例の紹介と学生支援状況（教育研究支援基金の支援報告、技術支援、就職活動支援等）を行なって、国大化学会の役割変化を正しく理解していただく。

タイトルに書きましたように、「あなたの会費が、国大化学会を支えています」が会を発展させるための基本です。ご理解頂き、会費納入をお願いいたします。

（文責・写真 本間）